

令和4年度 浜松市立入野中学校 学校評価報告書

P(計画)

D(実施)

C(評価)

A(改善)

説明責任

自己評価

【生徒・保護者・地域の状況】

項目	優れている点	伸ばしたい点
生徒の学習の様子	・「授業は、分かりやすく内容を理解しやすい。」と答える生徒が多く、学習に対して肯定的なイメージを持っている。	・生徒が自分の学習状況を自分で把握し、考えて学習を行う習慣を身に付けさせたい。そのために、生徒の学びに向かう姿勢向上を意識した単元計画、授業展開を研修するなどして、授業改善を図る。
生徒の学校生活の様子	・素直な生徒が多く、行事等にも熱心に取り組むことができる。 ・「学校に安心できる場所がある。」と答えられる生徒の比率が高い。	・いじめの認知数は比較的多いので、生徒にとって、より安全・安心で居場所のある学校づくりを推進していく。そのために、教育相談体制等の改善・充実や生徒の対人スキル向上を図る。
地域保護者連携について	・PTAや健全育成会の組織が活発で、学校に協力的である。	・ホームページや各種たより等で学校の様子を伝え、関係者の協力を仰ぐことで、開かれた教育課程の構築を目指す。

【達成目標】

○学校評価アンケート(生徒版・保護者版)における学習・生徒理解・地域連携に関する各設問での肯定的な回答の割合80%以上。

【生徒・保護者・地域との関わり向上に向けての取り組み】

○ふるさとで学び、地域の一員として貢献できる生徒を育てる。また、地域人材との積極的交流を通してキャリア教育の充実を図る。

- ・外部団体、人材の積極的な活用(防災学習、SDG's学習、生き方学習)
- ・地域交流の拡大(体育大会、火伏せの集い、校外学習、職場体験、ボランティア活動)
- ・地域活動への生徒の積極的な参加

○生徒一人一人に寄り添った指導による生徒理解

学校規模が大きく、職員の数が多いので、一人の生徒に多くの職員がかかわれる半面、情報の共有面に不安がある。そこで、校務支援ソフトを有効活用することにより、職員の共通理解や生徒支援委員会等での活用を図る。また、生徒の対人スキルの弱さから、様々なトラブルにつながる面も見られるので、生徒個々との関わりを深める中で、それぞれに合った支援を行い、その伸長も図りたい。

○保護者・地域との関わり向上

学校と家庭・地域が緊密な連携を図ることができるよう、情報公開を行う。また、各種アンケートを実施し、PDCAサイクルを意識化し、改善点に迅速に対応する。

学習指導

【R4学校評価アンケートより】 (R4. 12 実施)

(生徒)

- 授業は分かりやすく、内容を理解しやすい。 **84.0%**
- 先生は分からないところ、質問に丁寧に答えてくれる。 **92.8%**
- 家庭で課題以外の学習に意欲的に取り組んでいる。 **67.0%**

(保護者)

- 授業を通して、基礎的な学力を身につけている。 **86.8%**
- 生徒は家庭で課題以外の学習に取り組んでいる。 **54.7%**

生徒理解

【R4学校評価アンケートより】 (R4. 12 実施)

(生徒)

- 学校での活動を通して、成長していると感じる。 **83.0%**
- 学校に安心できる場所がひとつはある。 **83.5%**
- 理想とする生き方や夢、目標をもっている。 **72.3%**
- 自分の良いところを知っている。 **76.3%**
- 先生は、学校生活の中でよく声をかけてくれる。 **74.5%**

(保護者)

- 学校での生活を通して成長していると感じる。 **89.3%**
- 学校はお子さんに声をかけてくれていると感じる。 **79.2%**

地域保護者

【R4学校評価アンケートより】 (R4. 12 実施)

(保護者)

- 学校は情報をわかりやすく発信している。 **84.3%**
- 学校は相談しやすい。 **79.3%**

【改善策】

○授業が分かりやすいという生徒は8割以上に達しており、8割以上の保護者からも支持をいただいている。さらに指導法について職員研修を深めていく。

○与えられた課題以外の家庭学習に取り組んでいる生徒は6割にとどまり、保護者も厳しい見方をしている。課題の出し方の改善は進めている。今後は自分の課題を認識する力や学習を調整する力が高まるよう、自分の学びと生き方のつながりが意識できるような単元・授業の展開を考えたい。

【改善策】

○夢をもっている、そして、自己肯定感の強い生徒は、昨年度より増えてきている。自分のよさを認め、自分らしい生き方を模索することの良さをキャリア教育の推進を通して気付けるようにしたい。

○先生に見守ってもらえているという安心感を持ってもらいたい。生徒に寄り添った支援をしていきたい。

【改善策】

○引き続きのコロナ禍で、生徒が地域に出る、また、外部人材を招く機会が失われている。引き続き、地域交流の重要性を伝えていきたい。

○さくら連絡網の充実により、情報発信については高い評価が得られた。継続し、より連携強化を図りたい。

学校関係者評価

<学校評議員会より> (R4. 2 開催)

- 昨年度までの経験が生かされ、工夫しながら行事が実施できていることがよかった。来年度、生徒の活動する姿を家庭や地域にさらに公開できるようにしてほしい。
- コロナ禍で減っていた、地域と繋がる活動やボランティアの機会を増やして生徒との接点を減らさないようにしていきたい。
- 学校評価アンケートの実施方法がよかった。アンケートでの生徒、保護者、教員の比較や関連が見えやすかった。

改善策

- 新指導要領の理念を踏まえ、さらに授業改善を行うことで、学びに向かう意欲の向上を図る。
- キャリア教育を幹に据えた教育活動を行うことで、生徒の自己肯定感と対人スキルの向上を図る。また、メディアリテラシー教育も計画的に行い、ネット上での対人スキル等の向上にも努める。
- 生徒一人ひとりに対して教員が丁寧にに関わり、生徒理解を基本とした指導に努める。すべての生徒にとって「安心・安全な学校」を目指す。
- ブログや学校だよりで積極的に情報を公開し共有することで、地域人材に協力を求め、コミュニティスクールに向けた人材開発・確保に努める。